

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

NO	科目名	担当者名	実施時期	曜日	時限	授業時間	定員
1	世界のこどもたち	オムニバス	前期	水	2	1限 9:00～10:40 2限 10:50～12:30 3限 13:20～15:00 4限 15:10～16:50 5限 17:00～18:40	若干名
2	貧困に対する支援	中島修		月	3		若干名
3	知覚・認知心理学Ⅱ	小林剛史		水	3		若干名
4	ヒューマンバイオロジー	野部裕美		月	2		若干名
5	高齢期作業療法評価学	大橋幸子		火	2		若干名

* 「高齢期作業療法評価学」は、6月23日（火）は、3限・4限

7月7日（火）は、3限に実施いたします。

*各科目とも授業は13回の予定です。

在學生はオンデマンドの受講が必要ですが、リカレント生は受講不要です。

*授業は4月13日（月）から開始します。

*学期末試験を受験していただく必要はありません。

*成績評価はいたしません。

*NO.1～3は「人間学部」の科目、NO.4～5は「保健医療技術学部」の科目です。

(2) 場所

文京学院大学ふじみ野キャンパス
〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保 1196
電話 (049) -266-0253 (人間教務グループ)

アクセス方法

- 東武東上線ふじみ野駅西口より
スクールバスで7分（無料）
- 東武バス「ふじみ野駅」発 大井循環
〈文京学院大学経由〉「文京学院大学前」
下車、9分（有料）



2 受講料等

- (1) 受講料 1科目(半期)につき10,000円
(初講日に現金にて徴収)。
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 **令和8年2月27日(金)**(消印有効)
- (2) 申込先

〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保1196
 文京学院大学 人間学部教務グループ
 電話 049-266-0253
 e-mail: f-hum-kyoumu@m.bgu.ac.jp

- (3) 申込方法

e-mailにて以下の事項を**もれなく**記入の上、お申し込みください。e-mailの送受信をする環境にない場合には、ハガキにて送付ください。

- (1) 郵便番号、住所
 - (2) 氏名ふりがな
 - (3) 年齢(令和8年4月1日現在)、性別
 - (4) 電話番号
 - (5) 受講希望科目
- (4) 選抜方法
定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。
 - (5) その他
申し込み後に、**都合により受講できなくなった場合は早めにご連絡ください。**受講ができなくなった場合、受講料等はいただきません。ただし、一旦納入された受講料につきましては返金することはできませんので、あらかじめご了承ください。

4 各授業科目の概要及び担当教員

世界の子どもたち (オムニバス)	こどもの視点を通して世界で起きている多様な出来事や現実についての知識や理解を深めることを目的としている。また、子どもを一人の人権をもった個人ととらえて、様々な専門領域の教員が毎回「世界の子ども」というレンズを通して講義をすることで、多角的に子どもを理解する力を身につけるとともに、こどもの周りにいる大人の役割の重要さと支援の必要性について考える力を養う。
貧困に対する支援 (中島修)	貧困や公的扶助の概念を学習し、貧困状態にある人の生活実態とこれを取り巻く社会環境について事例を通して理解する。また、貧困の歴史と貧困観の変遷を学ぶことで貧困問題を社会的に支援することとなった背景を理解し、その貧困に係る法制度と支援の仕組みについて各種制度の学習を通して理解する。そして、事例を通して貧困による生活課題を踏まえ、具体的な支援のあり方を学習する。

<p>知覚・認知心理学Ⅱ (小林剛史)</p>	<p>本講義では、新旧の興味深い研究の知見を紹介するばかりではなく、その背景にある研究の手法や、その研究から得られる、人間に対する深遠な洞察能力を養うことを目的とする。すなわち、ヒトの脳および認知の機能の知識を表面的に身につけるのではなく、その機能を理解したうえでヒトという種に真に重要な機能についての教養を身につけることを目指す。近年の情報化社会により、人は大量の刺激に常に曝されており、そのような刺激環境に起因すると考えられる精神障害や適応不全も散見される。これほど多くの情報が氾濫する時代において、ヒトの脳および認知の機能の発達はどの方向に進んでいくのか。本講では、脳科学と認知の重要な知見についてさまざまな視聴覚教材を用いて学習することで、不確実性の社会において人間が進むべき方向性に対するより深い洞察能力を醸成する。</p>
<p>ヒューマン バイオロジー (野部裕美)</p>	<p>生命科学の基礎を学び、基礎専門科目である生理学を理解するための土台となる知識を身につける。細胞や組織、遺伝や発生、エネルギー代謝を学ぶことで、生物現象の本質を理解する。医学関連分野に応用できる知識および考える力を身につける。</p>
<p>高齢期作業療法評価学 (大橋幸子)</p>	<p>【授業目的】 1. 高齢期障害の特徴と、高齢期作業療法に必要な検査・評価・情報収集について理解する。 2. 高齢者の知的機能および認知症の検査・評価について理解する。</p>